

全国統一要求（抜粋）

- 1. 全ての公共工事現場で直接工事費分の単価支払いを実現
- 2. 碎石、砂利、砂、合材などの骨材運搬の収入も1日4万円以上に
- 3. 過積載復活させるな



発行所  
全日本建設交運一般労働組合  
東京都新宿区百人町 4-7-2  
電話 03(3360)8021  
毎月25日発行  
1部 50円

# 岸田政権は大企業減税をやめて 消費税減税・インボイス廃止を

## 署名緊急

# 燃料課税停止措置の発動へ 全国で燃料署名を集めよう

全国ダンプ

約2年間続いている世界的規模の原油価格の高騰等を要因として、燃料・物価高騰が止まることなく、ダンプの仕事や国民生活に重い負担がかかっています。とりわけ、今年8月から燃料価格が一気に引き上げられました。政府は、石油元売り会社への補助を実施していますが、期間限定で、価格引き下げの影響も少ないのが現状です。全国ダンプ部会は、「ガソリン・軽油引き取り税」の見直しを求める請願署名に取り組みを9月末から実施しています。オンライン署名では4万人以上が賛同しています。各組織においても組合員や家族、友人・知人に協力を広げて下さい。

全国ダンプ部会は9月末から「燃料署名」のとりくみを開始しています。これは、燃料高騰対策で政府がおこなう石油メーカー・元売り会社に対する補助金を継続することではなく、ガソリン税に対する2重課税の解消、民主党政権時代につくられた「燃料課税停止措置（ト

リガー条項）の発動」を求めるものです。「ガソリン税の特例税率25.1円、軽油引取税の特例17.1円」（図表を参照）となっており、期間限定でも実施されることによつて大幅に価格が引き下げられます。その分は国民生活の消費に回され、各企業にも波及

景気回復、税収増にもつながります。この取り組みは、各県本部・支部、全国トラック部会や建設共闘組織にも協力を呼びかけています。各自で必要な枚数を印刷し、中央本部までお寄せ下さい。1次締め切りは11月末です。なお、オンライン署名も行って

10月スタート  
国土交通大臣宛署名  
一人5筆以上集めよう

全国ダンプ部会は、ダンプ持ち労働者の組織化と低単価

改善、過積載根絶の運動を5年以上取り組んできました。建設産業の末端で働くダンプに対して様々なしわ寄せが今も現場で押し付けられています。部会に結集する各支部は、使用促進、職場闘争を展開し、ゼネコン各社や道路舗装・碎石会社及びその下請との交渉、公共工事発注当局への要請行動を展開し、組合員の要求を実現しています。また国土交通省本省に対しては毎年5月にダンプ労働者の要求にもとづいた国土交通大臣宛署名を提出し、交渉を実施しています。

アクセスをお願いします。  
[https://chng.it/46BJSVFqDd]  
（全国ダンプ部会のホームページからもアクセス可能）  
自家用ダンプ、軽貨物も燃料高騰支援を適用せよ

業者向けに給付金（東京都は1台あたり23,000円）を支給していますが、自家用ダンプや軽貨物を適用しないケースがあります。部会では燃料高騰支援の適用対象を広げるよう各自治体への要請書を作成しました。各支部で要請行動に取り組みましょう。



ガソリン税及び軽油引き取り税の仕組み図



今年5月19日の国土交通省交渉で大臣宛署名を手渡しました。

全国ダンプ部会は、今年も国土交通大臣宛署名の取り組みを10月から開始します。（第一次集約は12月末、第二次集約は来年2月末、最終は4月期末限）各組織では組合員数に比例した目標数（1人5筆）を設定し、各地で集約を広げて下さい。署名用紙は各事務所に送付します。



# 第30回ダンプキャラバン 組合員も学べる交渉実施



沖縄県・開発局など4ヶ所に対して要請行動を展開しました。(9月15日)

## 沖縄ダンプ

# 使用促進・低単価改善 4年ぶりに現場も参加

沖縄ダンプ支部は、悪天候の影響で延期になっていたダンプキャラバン行動を9月15日(金)に行いました。長期期間のコロナ感染対策が続いていた為、今回は4年ぶりに現場の組合員も参加することができました。

今回は現場の組合員へもすべての資料を配布し、組合が主張している使用促進の重要性を正しく理解し、今後の運動に自信をもって参加してもらうことを視野にいれながら行いました。

今年度は現場の組合員へもすべての資料を配布し、組合が主張している使用促進の重要性を正しく理解し、今後の運動に自信をもって参加してもらうことを視野にいれながら行いました。



要求闘争で奮闘し、節目となる第50回定期大会を組織純増で迎えました。(10月1日大阪市内)

## ダンプの実態伝え 現場調査を求める

公契約条例を規制型に改正させる要請については「これまでの『理念型』を推進し、実効性の確保に取り組みます」と回答。しかし、条例が制定されて以降ほとんど改善はなく、実効性は極めて薄いことは明らかです。物価高やインボイス制度による負担を軽減させるには、今すぐ『規制型』

## 第50回定期大会を 組合員純増で開催

関西ダンプ支部は、10月1日(日)国労大阪会館にて、第50回定期大会を21名の参加で開催しました。

## 企画 福島分会ボウリング大会 23人参加で盛り上がる

9月9日(土)、東北ダンプ支部・福島分会主催のボウリング大会が行われました。現場の仲間と組合専従の合計23人が参加しました。



「ボウリングは楽しい。また企画して欲しい」と仲間から感想が寄せられました。(9月9日福島県郡山市内)

役員選挙は、定数内のため信任投票が行われ、全員が信任されました。すべての議案も満場一致で採択され、闘う運動方針が確認されました。

ゲームだけでなく、お酒の交流会も大事なイベントのひとつです。永井副委員長の乾杯で始まった宴会も、ゲームの感想や組合活動の話などで大いに盛り上がり、表彰式では、二位にわずかの差をつけて優勝した、永井副委員長のチームが賞金をゲットしました。

参加した仲間からは「ボウリングは楽しい。また企画してくれ」とか「県内各班の持ち回りで開催しよう」などの感想が出され、団結を深めたイベントとなりました。